



三菱 高気密 高断熱 住宅用換気暖房ユニット(床置形)

形名  
**VL-1000HF4**

取扱説明書

お客さま用



次のようなマークで必要な情報を示しています。

- お願い** 正しく使っていただくための情報です。
- メモ** より便利にご使用いただくための情報です。
- ミニ情報** 細部の機能説明です。
- ページ** 参照ページを示します。

もくじ	ページ
<b>お使いになる前に</b>	
安全のために必ず守ること……………2	
各部のなまえとはたらき……………3~4	
<b>使いかた</b>	
使用前の準備……………5	
換気運転……………5	
暖房運転……………6	
温度調節のしかた……………7 (空調用温度コントローラの使いかた)	
上手な使いかた……………7	
<b>お手入れ・困ったとき</b>	
お手入れのしかた……………8~9	
「故障かな？」と思ったら……………10	
アフターサービス……………11	
仕様……………11	
メンテナンス契約のお願い……………裏表紙	

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
この説明書は同梱の保証書・「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役立てください。  
保証書は「お買上げ日・施工工事店名」などの記入を確かめてお受け取りください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

お客さま自身では取付けないでください。(安全や機能の確保ができません)  
取付場所・取付けに関して不具合があった場合は販売店へご相談ください。

## 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

- 警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
- 注意** 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりです。

- 禁
- 止
- 分解禁止
- 水ぬれ禁止
- 指示に従い必ず行う

警告	
	●可燃性ガスが漏れた場合は使用しない (電気接点の火花により爆発の原因になります) 窓を開けて換気してください
	●改造や工具を必要とする分解はしない (火災・感電・けがの原因となります)
	●製品を水につけたり、水をかけたりしない (火災や感電の恐れがあります)
	●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります) ●浴室など湿気の多い所に取付けられていないか確認する (火災や感電の恐れがあります) ●お手入れの際は必ず、分電盤ブレーカーを切る (感電やけがをすることがあります) ●異常時(こげ臭い等)は、運転を停止して分電盤ブレーカーを切る (異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります) ●外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない位置にあるか確認する (新鮮な空気を取り入れられず、室内が酸欠状態になる恐れがあります) ●燃焼器具(ガスコンロ、開放式ストーブなど)を使用する部屋は局所換気を行う (酸欠状態になる原因になります)

注意	
	●吹出グリルの風が直接あたるところに燃焼器具をおかない (不完全燃焼による事故の原因になります)
	●お手入れの際は手袋を着用する (着用しないとけがをすることがあります) ●お手入れ後の部品の取付けは確実に (落下によりけがをすることがあります) ●長期間使用しないときは、必ず分電盤ブレーカーを切る (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

# 各部のなまえとはたらき

## 換気暖房システムの

### ◆主な特長

「高気密・高断熱」の住宅は低エネルギーで快適な居住空間が得られるメリットがあります。その反面換気不足によって発生する室内空気の汚染・結露など住まいを傷めたり、健康を害するカビ・ダニの発生にもつながります。

そこでロスナイ換気をしながら暖房もできる換気暖房システムが必要となります。換気暖房システムではロスナイ換気と油だき温水ボイラにより温風暖房を行います。

## 24時間ロスナイ換気

ロスナイ換気とはロスナイエレメントの働きにより外気を室温に近づけて給気しますので、暖かさを保ちながら換気ができます。家も呼吸ができて結露・カビ・ダニの発生を抑制します。

## 家全体が温風暖房

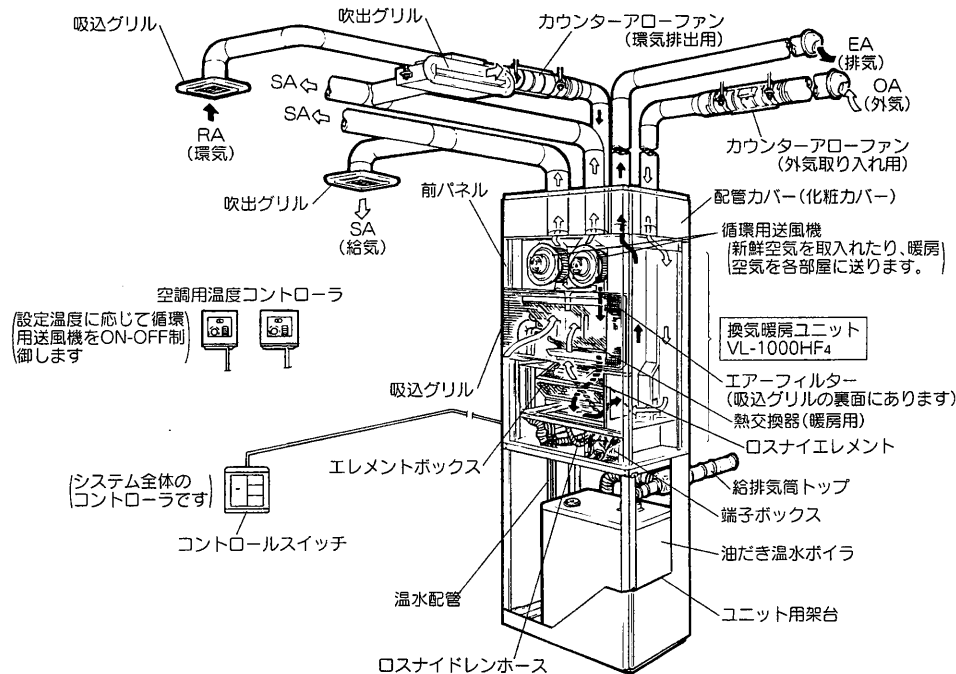
温水を使って温風を作り、ダクト配管を通して家全体に送ります。これによって家中むらなく暖房できます。

## 2ゾーン制御で経済的に暖房

空調用温度コントローラを2台設置すると、例えば1階と2階のように住宅の空調ゾーンを2つのゾーンとして別々に温度制御ができます。必要なゾーンのみ運転すれば経済的です。

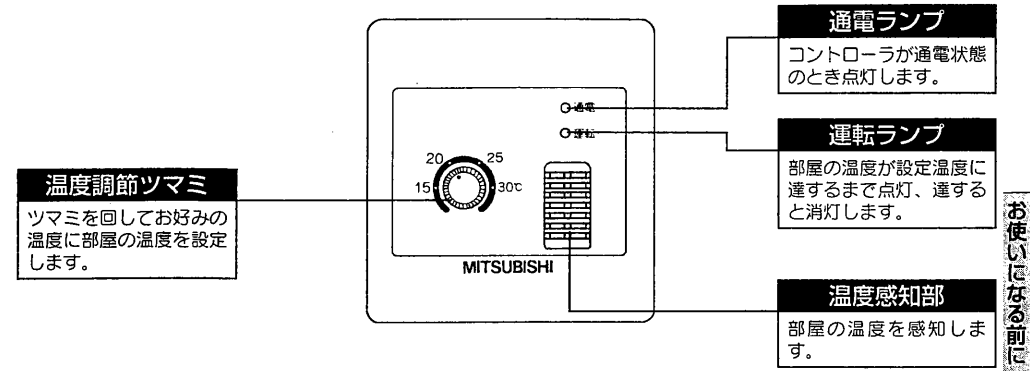
## システムおよびユニット本体

※図は説明のため、外側のカバー類を省略してあります。

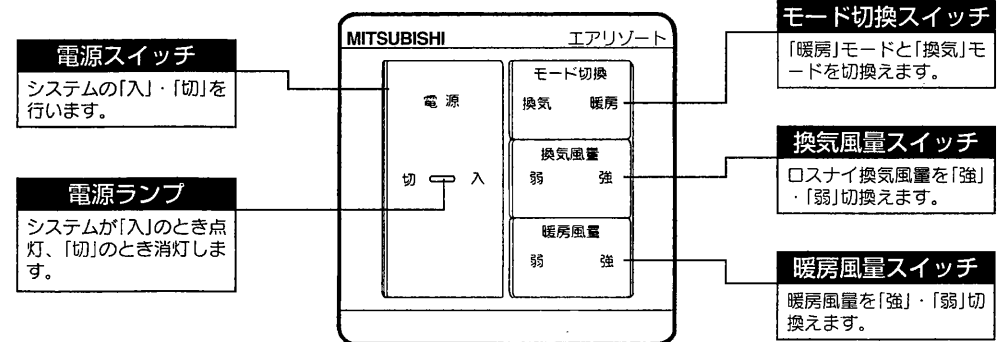


# 各部のなまえとはたらき つづき

## ◆空調用温度コントローラのなまえとはたらき (P-03CTU-DS2) (暖房専用)



## ◆コントロールスイッチのなまえとはたらき (P-900SW)

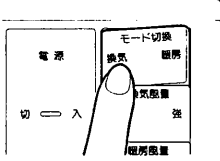
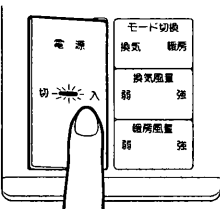
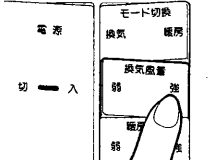
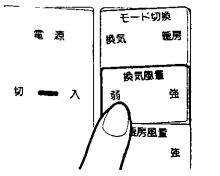


# 使いかた

## 使用前の準備

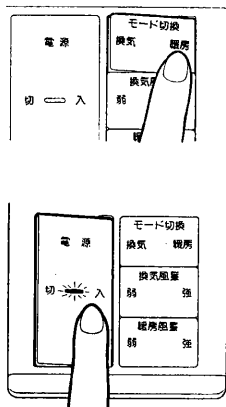
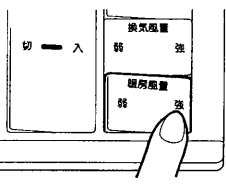
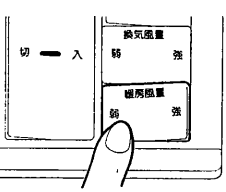
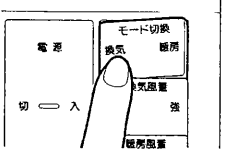
1. システムに通電します。……分電盤ブレーカーを「入」にします。
2. 暖房するときはボイラについて次のことを行います。
  - ボイラの電源プラグをコンセントに差し込みます。
  - ボイラの使用燃料、給油方法、定油面器のセット方法、給排気筒接続部分の点検をボイラの取扱説明書に従い行います。
  - ボイラの給排気筒トップ付近に危険物、可燃物や外気（OA）吸込口がないか確認します。
  - ボイラのリモコンが設置してある場合はリモコンの電源スイッチを「切」にします。  
(換気暖房ユニットからボイラに運転開始・停止の信号を送りますので必ず「切」にしてください)

## 換気運転 ……ロスナイ換気を行う。

手順	操作	操作部	操作結果とメモ
1 運転開始	モード切換スイッチの左側を押す		<b>メモ</b> 春・夏・秋など暖房を必要としないとき換気運転を行います。
	電源スイッチの右側を押す		電源ランプ点灯 換気モード時、循環用送風機の風量は弱風で固定されます。
2 風量切換	「強」運転 換気風量切換スイッチの右側を押す		<b>メモ</b> ●来客など人数が増えたとき
	「弱」運転 換気風量切換スイッチの左側を押す		<b>メモ</b> ●部屋が乾燥ぎみのとき ●お出掛けや就寝時 ●梅雨時など湿気が気になるとき

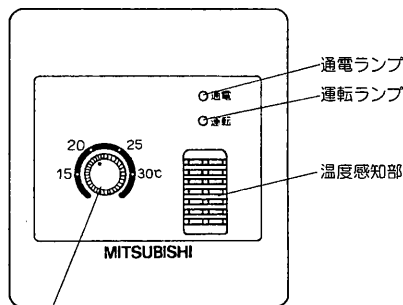
# 使いかた つづき

## 暖房運転 ……暖房とともにロスナイ換気を行う。

手順	操作	操作部	操作結果とメモ
1 運転開始	モード切換スイッチの右側を押す  電源スイッチの右側を押す [すでに換気運転している場合はこの操作は不用です]		電源ランプ点灯 換気暖房ユニットとボイラが運転開始し、約7分後に温風が出ます。
2 風量切換	「強」運転 暖房風量スイッチの右側を押す		<b>メモ</b> ●部屋を早く暖めるとき
	「弱」運転 暖房風量スイッチの左側を押す		<b>メモ</b> ●部屋が十分暖まったとき ●就寝時や運転音が気になるとき
3 温度調節	空調用温度コントローラで行います…… <a href="#">7</a> 参照		
4 暖房運転停止	暖房シーズンが終わったらモード切換スイッチを「換気」にする		ボイラの運転停止 循環用送風機の風量は弱風で固定されます。

## 温度調節のしかた

……空調用温度コントローラの使いかた



温度調節ツマミ

暖房運転時「寒い」または「暑い」と感じたら温度調節ツマミを回します。

「寒い」とき右側に回します。

「暑い」とき左側に回します。

お好みの温度に設定してください。

### メモ

- 設定温度は目安です。部屋の温度と必ずしも一致しません。

### ミニ情報

- 室温を設定温度まで上げようとしているときボイラに運転指示が行きます。(運転ランプが点灯します)設定温度に達するとボイラに停止信号が行き、運転ランプが消灯します。
- 2台の空調用温度コントローラの運転ランプが両方とも消灯しているとき(設定温度に達したとき)換気暖房ユニットは「弱」運転となりロスナイ換気を続けます。
- 換気運転時、温度調節ツマミの位置により、運転ランプが点灯することがありますが暖房運転中ではありません。

## 上手な使いかた

- このシステムでは在宅時24時間運転を前提としていますので、いずれかのモードで常に運転してください。  
(高気密・高断熱住宅は「自然換気量が少ない」・「部屋を暖めるのに時間がかかる」という特性があります)
- 暖房しすぎに注意しましょう。  
暖房時の室温の目安は20℃です。ちょっとした心がけで経済的にご使用できます。
- お部屋が乾燥するとき  
風量を「弱」で運転します。それでも乾燥するときは市販の加湿器をご利用ください。
- 停電・瞬停等が発生した場合  
復帰後、自動的に元のモードに戻ります。
- 長期間不在の場合や保守点検(お手入れ)の際は電源スイッチを「切」にします。  
この場合、ボイラの電源プラグも抜いてください。
- 温水配管を流れる防錆循環液は2年に1回強化剤(システム部材VPZ-18PW)添加し、4年に1回交換(システム部材VPZ-10GX、VPZ-18GX)が必要です。  
(温水配管の錆防止)
- 激しい雷のときは分電盤ブレーカーを切ってください。  
(雷による製品の損傷を防止できます)

# お手入れのしかた

換気暖房ユニットを効率よくお使いいただくために、各部品のお手入れを行ってください。

フィルターに付着したごみ、ほこりを1か月に1回以上清掃してください。

## 各部品のはずしかた

- ### 1 吸込グリル

  - 吸込グリルを上を持ち上げ手前に引いてははずす。
- ### 2 エアークリナー

  - 吸込グリルに取付けられているエアークリナーを図のようにはずす。
- ### 3 ロスナイエレメント

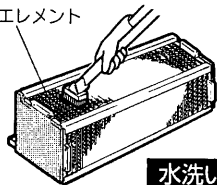
  - (1)ターンファスナーを90°回してははずす。
  - (2)ロスナイエレメントの取手をつかみ、手前に引き出す。
- ### 4 ロスナイエアークリナー

  - (1)フィルター押えをつまんでたわませ、みぞ部分からははずす。
  - (2)ロスナイエアークリナーをロスナイエレメントからははずす。

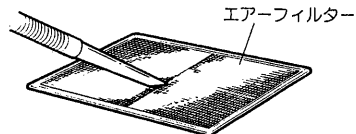
お手入れ・困ったとき

## 各部位の清掃のしかた

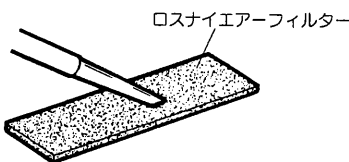
ロスナイエレメント



水洗い禁止



エアフィルター



ロスナイエアフィルター

1. 掃除機で表面のごみ、ほこりを吸い取る。

### お願い

- ロスナイエレメントの清掃には長いはけ付きの掃除機を使用してください。(硬いノズルを当てますと、ロスナイエレメントの表面に傷がつくことがあります)
- 清掃の際に火であぶったり、熱湯、薬品、揮発性の溶剤をかけたりしないでください。(破損します)

2. フィルター類の汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。絶対にもみ洗いをしないでください。

## 機器外装・本体吸込グリル・室内吸込・吹出グリルのお手入れ

お手入れは中性洗剤を入れたぬるま湯に浸した布を固くしぼってふく。洗剤が残らないようきれいな布でふき取る。

室内吸込・吹出グリルにはフィルターが付いていますので掃除機などで清掃する。

### お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学そうきんの薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤  
(変質・変色する原因になります)

## 熱交換器のお手入れ

定期的(約5年毎)に清掃が必要です。メンテナンス契約をお願いします。(裏表紙を参照ください)

## お手入れ後の組立てと確認

1. 取付けはロスナイエアフィルターの取付位置に注意して取りはずしと逆の順序で取付ける。

2. コントロールスイッチの電源スイッチを「入」にして、運転を開始する。

3. 次の確認をします。

- 部品は確実に取付けられていますか
- 異常な音が出ていませんか
- 風は正常に出ていますか

# 「故障かな？」と思ったら

次のことを調べてください

## ■換気暖房ユニット

症状	原因
もう一度お調べください 運転しないとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 停電ではありませんか。</li> <li>● 分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか。</li> <li>● コントロールスイッチの電源スイッチが「切」になっていませんか。</li> </ul>
よく暖まらないとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドアや窓が開いていませんか。</li> <li>● エアフィルターにほこりやごみがつまっていませんか。</li> <li>● 室温調節が適正な温度になっていませんか。</li> <li>● 吹出グリルが障害物でふさがれていませんか。</li> </ul>
ボイラの運転が停止した	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボイラの電源コンセントが抜けていませんか。</li> <li>● ボイラの灯油はありますか。</li> <li>● ボイラの防錆循環液が不足していませんか。 (ボイラの取扱説明書をご覧ください)</li> </ul>

## ■空調用温度コントローラ

症状	原因
もう一度お調べください 通電ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 停電ではありませんか。</li> <li>● 分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか。</li> </ul>
暖房時、寒く感じても運転ランプが点灯せず、空調が働かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部屋の温度より設定温度が低くなっていませんか。</li> </ul>

以上のことを調べても直らないときは使用を中止し、施工工事に修理依頼または、お近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へご相談ください。

次のような現象は故障ではありません

現象	説明
暖房時 運転直後に吹出グリルから冷風がでる	ボイラのヒートアップの時間が必要です。機器内部に温水が送られ温風が出るまでしばらくお待ちください。
暖房時 部屋が乾燥する	暖房風量切換スイッチを「弱」にしてご使用ください。それでも乾燥する場合は市販の加湿器をご使用ください。


お手入れ・困ったとき

お手入れ・困ったとき

# アフターサービス

「換気暖房ユニット」のアフターサービスは、施工工事店へお申しつけください。

## サービスを依頼される前に

取扱説明書の「故障かな?」と思ったらに従って調べていただき、直らないときは次の処置をしてください。 

### ●保証期間中は……

施工工事店にご連絡ください。保証書の規定に従って販売店が修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 形名……VL-1000HF4
- 現象……できるだけ詳しく
- 訪問ご希望日

### ●保証期間が過ぎているときは……

施工工事店にまずご相談ください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの「換気暖房ユニット」の補修用性能部品を製造打切後最低9年間まで保有しています。

# 仕様

お手入れ・困ったとき

形名	循環風量	換気風量	暖房能力	消費電力	騒音
VL-1000HF4	770/780m <sup>3</sup> /h(最大)	150/160m <sup>3</sup> /h(最大)	11.0/11.4kW	120/145W	47/48dB(A)

# メンテナンス契約のお願い

「換気暖房ユニット」を最良の状態で性能をフルに発揮させるためには、お客さまの正しいご使用と、専門家によるメンテナンスが必要です。故障がおきてからの修理では大変な費用と時間がかかり、お客さまにご不便をおかけすることになります。メンテナンス契約をお申し込みいただくようお願い申し上げます。

### ●お申し込み先



施工工事店、またはお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」

### ●定期点検費用

定期点検・部品交換の費用についてはお客さまにご相談申し上げます。

### ●定期点検の内容

項	目	点検の目安
換気暖房ユニット	ロスナイエレメント	1年に1回 清掃
	モータの玉軸受	5年に1回 交換
	熱交換器	5年に1回 清掃
ボイラ	燃料系統	2年に1回 点検 清掃
	給排気系統	
	水配管系統	
	電気系統	
	防錆循環液	2年に1回 補充 4年に1回 交換
吹出グリル、吸込グリル、コントロール		1年に1回 点検
その他システムの点検		1年に1回

	☆長年ご使用の換気暖房ユニットの点検を!	
	 <p>ご使用の際 このようなことは ありませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スイッチを入れても回転しない。</li> <li>●運転中に異常音や振動がする。</li> <li>●こげ臭いにおいがする。</li> </ul>
	<p><b>使用中止</b></p>	<p>故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。</p>

<b>お客さまメモ</b> サービスを依頼されるとき便利です。	形名	VL-1000HF4
	お買上げ年月日	年 月 日
	お買上げ店名 (住所) (電話番号)	( ) _____

 三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111